



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4972 URL https://www.soken-ce.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 純一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 和田 裕子 (TEL) 03-3983-3268  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	29,091	4.4	1,475	△20.4	1,657	△22.3	1,142	△32.2
2022年3月期第3四半期	27,861	24.5	1,853	△24.1	2,132	△13.2	1,685	△17.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,641百万円( 5.8%) 2022年3月期第3四半期 2,497百万円( 30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	138.29	—
2022年3月期第3四半期	204.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	46,872	30,399	64.9
2022年3月期	45,582	28,348	62.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 30,399百万円 2022年3月期 28,348百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	△0.4	2,000	△10.3	2,100	△23.5	1,300	△36.3	157.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	8,300,000株	2022年3月期	8,300,000株
2023年3月期3Q	33,447株	2022年3月期	48,847株
2023年3月期3Q	8,259,497株	2022年3月期3Q	8,244,204株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、行動制限緩和によるコロナ禍からの持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の悪化・長期化に伴う資源価格の高騰など世界的な物価上昇の深刻化や海外主要国での金融引き締めによる景気減速にくわえ、中国でのコロナ政策転換に伴う感染急拡大の影響が懸念されるなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、原材料価格上昇に応じた適切な価格転嫁やコスト削減施策による収益性の改善に注力するとともに、液晶ディスプレイ分野をはじめとする既存事業領域における収益基盤の維持・拡大を図っております。また、持続的成長と企業価値向上を果たすために、自動車、情報・電子など成長分野での新たな事業機会の創出による成長基盤の構築、医療ヘルスケア・環境・エネルギー分野での研究機関やスタートアップ企業との連携による社会課題解決を志向した新規事業開発体制の確立に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、液晶ディスプレイ関連分野での急激な生産調整の影響を受けてケミカルズの販売が落ち込みましたが、価格改定の効果や円安に伴う中国子会社売上高の為替換算額の増加などにより、売上高は290億91百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

利益面では、原材料価格の上昇に対する価格転嫁やコスト削減を進めたものの、ケミカルズの販売数量の減少に伴う減益をカバーするには至らず、営業利益は14億75百万円（前年同期比20.4%減）、経常利益は16億57百万円（前年同期比22.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億42百万円（前年同期比32.2%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### <ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は265億92百万円（前年同期比7.7%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、液晶ディスプレイ関連用途向けの販売数量が生産調整の影響を受けて減少しましたが、価格改定の効果などにより、売上高は168億94百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散用途の在庫調整の長期化や電子部品関連用途の需要低迷の影響を受けて販売数量が減少したことなどにより、売上高は19億57百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場でのスマートフォンの市況悪化などによる影響を受けて電子材料用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は22億90百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

加工製品は、中国市場を中心に機能性粘着テープの販売が自動車内装部材や情報電子機器用途向けで増加したことなどにより、売上高は54億49百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

#### <装置システム>

装置システムについては、国内設備投資が堅調に推移するなか、前期を上回る受注残高を確保しておりますが、設備関連の工事完成高が前年同期に比べ減少し、売上高は24億99百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて12億89百万円増加し、468億72百万円となりました。

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産が増加したものの、現金及び預金、電子記録債権、有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べ4億43百万円減少し、274億30百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ17億33百万円増加し、194億41百万円となりました。

一方、負債については短期借入金、長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末に比べ7億61百万円減少し、164億73百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末に比べ20億51百万円増加し、303億99百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末62.2%から2.7ポイント増加し64.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,203,486	7,013,729
受取手形、売掛金及び契約資産	8,026,469	8,395,288
電子記録債権	2,410,428	2,300,705
有価証券	4,000,000	3,000,000
商品及び製品	4,271,337	4,434,489
仕掛品	47,115	184,972
原材料及び貯蔵品	1,338,082	1,574,984
その他	588,588	539,298
貸倒引当金	△11,625	△13,068
流動資産合計	27,873,883	27,430,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,231,963	16,793,338
減価償却累計額	△9,137,730	△9,809,237
建物及び構築物（純額）	7,094,232	6,984,100
機械装置及び運搬具	20,269,712	21,173,545
減価償却累計額	△16,222,652	△17,022,954
機械装置及び運搬具（純額）	4,047,060	4,150,590
土地	1,347,465	1,431,560
使用権資産	735,187	823,336
減価償却累計額	△186,967	△229,769
使用権資産（純額）	548,219	593,566
建設仮勘定	2,266,078	3,844,731
その他	3,302,832	3,558,278
減価償却累計額	△2,470,111	△2,606,236
その他（純額）	832,720	952,042
有形固定資産合計	16,135,776	17,956,591
無形固定資産		
その他	328,701	234,922
無形固定資産合計	328,701	234,922
投資その他の資産		
投資有価証券	63,469	70,424
繰延税金資産	1,008,751	1,017,405
その他	290,106	279,822
貸倒引当金	△118,110	△117,210
投資その他の資産合計	1,244,217	1,250,442
固定資産合計	17,708,695	19,441,955
資産合計	45,582,578	46,872,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,146,311	6,346,735
電子記録債務	740,510	742,672
短期借入金	1,092,618	1,452,396
1年内返済予定の長期借入金	90,250	355,075
未払法人税等	328,080	205,637
賞与引当金	654,290	298,459
役員賞与引当金	63,000	37,500
完成工事補償引当金	8,500	3,700
工事損失引当金	0	1
その他	1,785,843	2,083,066
流動負債合計	12,909,404	11,525,244
固定負債		
長期借入金	2,440,126	3,062,782
退職給付に係る負債	1,802,523	1,759,349
資産除去債務	46,647	46,721
その他	35,606	78,948
固定負債合計	4,324,902	4,947,803
負債合計	17,234,307	16,473,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,662	3,412,273
利益剰余金	19,697,641	20,221,026
自己株式	△58,455	△40,038
株主資本合計	26,403,411	26,954,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,586	8,693
為替換算調整勘定	1,909,685	3,392,245
退職給付に係る調整累計額	31,588	43,545
その他の包括利益累計額合計	1,944,859	3,444,484
純資産合計	28,348,270	30,399,309
負債純資産合計	45,582,578	46,872,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	27,861,411	29,091,534
売上原価	20,233,014	21,360,492
売上総利益	7,628,397	7,731,042
販売費及び一般管理費	5,774,554	6,255,913
営業利益	1,853,842	1,475,128
営業外収益		
受取利息及び配当金	33,168	25,583
為替差益	219,291	125,575
補助金収入	48,228	41,381
雑収入	43,140	43,076
営業外収益合計	343,829	235,617
営業外費用		
支払利息	37,102	23,124
支払手数料	5,232	23,985
雑損失	22,490	6,537
営業外費用合計	64,825	53,647
経常利益	2,132,846	1,657,098
特別利益		
固定資産売却益	16	5,664
投資有価証券売却益	64,899	—
補助金収入	—	74,870
特別利益合計	64,915	80,534
特別損失		
固定資産除売却損	22,897	134,509
固定資産圧縮損	—	74,870
投資有価証券売却損	8,753	—
投資有価証券評価損	—	28,152
特別損失合計	31,651	237,532
税金等調整前四半期純利益	2,166,110	1,500,100
法人税等	480,317	357,878
四半期純利益	1,685,793	1,142,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,685,793	1,142,221

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,685,793	1,142,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,458	5,107
為替換算調整勘定	858,169	1,482,560
退職給付に係る調整額	12,687	11,957
その他の包括利益合計	811,398	1,499,625
四半期包括利益	2,497,192	2,641,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,497,192	2,641,847

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,685,309	3,176,102	27,861,411	—	27,861,411
セグメント間の 内部売上高又は振替高	284	209,472	209,757	△209,757	—
計	24,685,594	3,385,574	28,071,169	△209,757	27,861,411
セグメント利益	1,538,824	340,230	1,879,054	△25,212	1,853,842

(注)1. セグメント利益の調整額△25,212千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,592,148	2,499,386	29,091,534	—	29,091,534
セグメント間の 内部売上高又は振替高	254	11,910	12,164	△12,164	—
計	26,592,402	2,511,296	29,103,699	△12,164	29,091,534
セグメント利益	1,331,322	134,110	1,465,433	9,695	1,475,128

(注)1. セグメント利益の調整額9,695千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。